

教育セミナー4

アサーティブ・コミュニケーションで、充実ライフワーク！ー公認心理師・臨床心理士が考える患者様対応とセルフケアー

演者：清家 かおる(松山大学学生支援室 カウンセラー)

近年、医療現場で医療専門職の「燃え尽き症候群:バーンアウト」が、増加傾向にあります。「肉体労働」や「頭脳労働」だけではなく、「感情労働」も必要とされる医療専門職は、感情が労働内容にもたらす影響が大きく、本来の感情を押し殺して、業務を遂行することが求められます。その為、医療専門職自身の感情面のケアをすることが重要です。

本セミナーでは、「バーンアウトに陥らない」で、仕事が“遣り甲斐・生き甲斐”に結び付く「ライフワーク」となるような「患者様への対応」と「医療専門職自身の心のセルフケア」について、心理職の立場から、ご提案させていただきたいと思います。

「患者様への対応」では、対応に苦慮する患者様をタイプ別に対応方法を概観し、対応の際の留意点や、自他尊重の考えを大切にした“アサーティブ・コミュニケーション”をご紹介します。「医療専門職自身の心のセルフケア」では、ストレスに関する知識、及び、ストレス対処法や呼吸法などの実習を交えたストレスマネジメントについて、ご紹介します。また、日頃、皆様が医療現場で困っていらっしゃる事例があれば、一緒に考えていく場にしたいと考えています。

“アサーティブ・コミュニケーション”や“心と体のリラクゼーション”が、皆様の今後の仕事への活力の一助になれば幸いです。ご参加をお待ちしております。